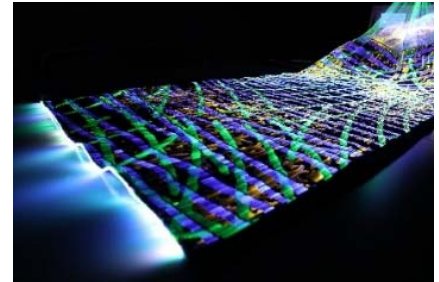


## 特殊側面発光糸を用いた内装材織物 「発光ジャカード織物（LightWeave®）」

大喜(株) (坂井市)

平成 29～令和元年度 戦略的基盤技術高度化支援事業

問合せ先 近藤幸江、芦原将彰



### 背景と経緯

近未来の次世代自動車内装材のニーズに、ドライバーや同乗者が狭い車内空間で長時間乗車しても、心地よくこれまでにない感性価値を感じることができ、さらに、人工知能（AI）を有した自動運転もアシストできる車内空間の構築があります。

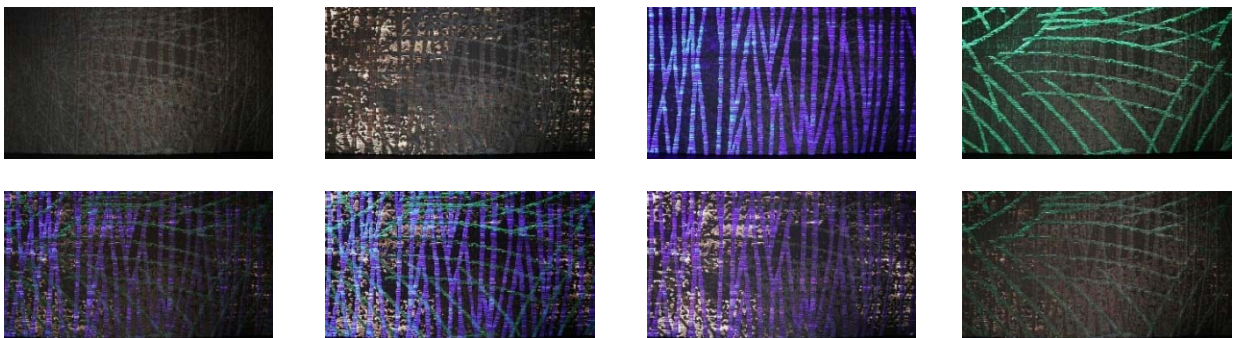
そこで、大喜(株)では、福井県工業技術センターと共同で、繊維の側面から光が拡散して発光する新規の光ファイバー「特殊側面発光糸」を織り込んだ「発光ジャカード織物」を開発しました。

### 成果と製品化の状況

ジャカード（柄出し）織物の製造技術をベースに、ジャカード織りとカラミ（絡み）織りを複合した世界初の製織技術を開発し、ジャカード織物の表面全面が発光して照明効果を施すことができる「発光ジャカード織物」を実現しました。

この織物は、光源を多色プログラム発光させることで、たった1枚の布から幻想的な空間を作り出すことができ、昼間は自然光による織物そのもののデザインを楽しみ、夜間は複数色のLED光のプログラム発光による光る織物のイルミネーションによって美しい幻想的な空間を彩る演出が可能となります。また、自動運転車の内装材に使用すると、光を利用した視認性が高いサイン機能により、例えば、乗員に自動運転モードと手動運転モードを直感的に伝えるなどのHMI（ヒューマンマシンインターフェース）のような使い方が可能となります。現在、様々な業界に向けて販路開拓を行っています。

なお、この製品は、経済産業省近畿経済産業局が選定した「関西ものづくり新撰2021」の最優秀賞に選ばれました。



刻々と表情が変わる多色発光ジャカード織物